

- 産業の活性化や雇用の創出を図るため、「産業・雇用振興プロジェクト」を立ち上げます。
- 「産業・雇用振興プロジェクト」においては、主としてマクロ経済の視点から県内の産業構造を模索する「地域経済研究会」、産業分野別の産業振興策を検討する「産業振興研究会」及び県内の雇用の質の向上・ミスマッチの解消を目指す「地域雇用研究会」の3つの研究会を開催し、有機的に連携しつつ、検討を深めます。

### 地域経済研究会

【目的】 主としてマクロ経済の視点から、統計情報を効果的に活用しつつ、奈良の経済・産業構造の特徴(トレンド)を把握するとともに、社会経済情勢も踏まえ、奈良県のあるべき産業構造を模索する

【分析項目】 県民経済(GDPなど)、産業連関(産業構造など)、企業動向(事業所数、売上高、雇用者数など)、所得動向(賃金、年金など)、金融環境 等

【検討する施策の方向性】 今後の県内の産業構造のあるべき姿を示し、競争的市場環境を整備する

あるべき  
産業構造

ミクロの声を  
フィードバック

### 産業振興研究会

【目的】 産業の活性化のため、産業分野別に、国内外の情勢を踏まえつつ、県民・県内企業の声を聴きながら、課題を整理した上で、効果的な振興施策を検討する

#### 【検討する産業分野】

- (総括) 産業・雇用振興部
- (産業・雇用振興部) 製造業、商業、サービス業
- (土木部) 建設業
- (農林部) 農業、林業
- (文化観光局) 観光産業
- (健康福祉部・医療政策部) 福祉・医療業

【検討する施策の方向性】 マーケティング、プロモーション、研究開発、立地環境整備、金融支援、人材確保 等

### 地域雇用研究会

【目的】 雇用の質の向上(働きやすさ)や雇用のミスマッチの解消の視点から課題の整理を行い、望ましい雇用環境に向け、必要な施策を検討する

【分析項目】 求人・求職の状況、潜在労働力 等

【検討する施策の方向性】 キャリア形成支援、キャリア教育、マッチング支援、環境整備

雇用創出

人材活用